

科目名	健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導)	担当教員	世古 俊明※ 小川 峻一※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------------	------	--------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	4年次	後期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR43ABE	③、④					

科目概要	「健康増進障害予防概論」および「健康増進障害予防演習Ⅰ」で学んだ知識・技術を基礎として、理学療法学、作業療法学、健康増進科学等の各分野における最新の知見を集約し、健康増進と障害予防のための実際のヘルスプロモーションに向けた介入計画の立案、指導、環境調整、他職種連携について学び知識を統合する。
学習目標	健康増進のためのヘルスプロモーション推進を理解し、実際の対象に対する運動器ならびに認知機能評価結果から、健康増進と障害予防に効果的となる根拠に基づいた介入プログラム立案の基礎知識と実践力を獲得し、他職種連携の知識や役割を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	総論.1	健康増進のためのヘルスプロモーション	健康増進のためのヘルスプロモーションの概念を理解する。	世古
2	総論.2	ヘルスプロモーションと地域活動	地域活動に関して必要な知識を理解する。	世古
3	身体機能と健康増進プログラム.1	身体機能評価と改善のためのプログラムの理解	身体機能評価結果から維持・改善のためのプログラムを理解する。	世古
4	身体機能と健康増進プログラム.2	身体機能の維持・向上改善プログラムの立案	身体機能評価結果から維持・改善のためのプログラムを立案できる。	世古
5	認知機能と健康増進プログラム.1	認知機能のための評価とプログラムの理解	認知機能評価結果から維持・改善のためのプログラムを理解する。	小川
6	認知機能と健康増進プログラム.2	認知機能の維持・向上プログラムの立案	認知機能評価結果から維持・改善のためのプログラムを立案できる。	小川
7	健康増進と他職種連携.1	健康増進と他職種連携の理解	他職種連携のための知識を理解する。	小川
8	健康増進と他職種連携.2	健康増進と他職種連携の事例検討	他職種連携のための知識を用いて、事例対象者に対する他職種連携の役割を理解する。	小川
9	健康増進と他職種連携.3	他専門職学生との協同演習.1	他職種連携について理解する。	世古 小川
10	健康増進と他職種連携.4	他専門職学生との協同演習.2	他職種連携について理解する。	世古 小川
11	健康増進と他職種連携.5	他専門職学生との協同演習.3	他職種連携におけるリハビリテーション職種の役割について理解する。	世古 小川
12	健康増進と他職種連携.6	他専門職学生との協同演習.4	他職種連携におけるリハビリテーション職種の役割について理解する。	世古 小川
13	健康増進と他職種連携.7	他専門職学生との協同演習.5	他職種連携における自己課題を明らかとし、課題解決方法を検討する。	世古 小川
14	健康増進と他職種連携.8	他専門職学生との協同演習.6	他職種連携における自己課題を明らかとし、課題解決方法を検討する。	世古 小川

15	まとめ	健康増進のためのプログラムのエビデンス	健康増進のためのプログラムのエビデンスを整理して理解する。	世古
	評価方法	レポート（90%）、授業における応対や態度などの講義への関心度（10%）		
	課題に対するフィードバック	講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
	教科図書	特に指定しない（資料を配布する）。		
	参考図書	對馬均・監訳『エビデンスに基づく「高齢者の理想的な運動プログラム」』医歯薬出版、2008年 麻見直美・著『栄養科学イラストレイテッド「運動生理学」』羊土社、2019年		
	学習の準備	「健康増進障害予防概論」および「健康増進障害予防演習Ⅰ」で学んだ知識・技術の内容を整理しておくこと（45分）		
	オフィスアワー	月曜日 10時～16時、その他在室時はいつでも可		
	担当教員欄に※印を附した教員の実務経験	世古俊明・小川峻一は、民間病院で健康増進と障害予防のための実際のヘルスプロモーションに向けた介入計画の立案、指導、環境調整の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。		